

- 魚沼市は天然林の割合が多いとともに、天然林、人工林ともに9齢級（45年生）以上の比較的高齢の林が多くを占めるため、森林の多面的機能を維持するために森林整備を計画的に進めて、木質資源を有効に活用していくことが必要です。

1 令和7年度の具体的な活用状況

① 森林整備事業

【事業費】51,144千円（うち譲与税23,171千円）

【実績】東中地区間伐業務委託（1.85ha）
品木沢森林作業道開設第2期工事（L=111m）
森林整備推進事業補助金（2団体）
スギ林保全対策モデル事業（1団体 0.3ha）

② 木材活用事業

【事業費】2,765千円（うち譲与税2,765千円）

【実績】市産材備品等の市内公共施設への設置(8施設)
市産材活用製品（制作：137個）

令和7年度森林環境譲与税額	令和7年度譲与税活用額	差引
24,516千円	25,936千円	▲1,420千円

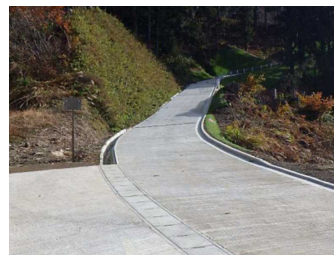
差額の1,420千円は、森林環境整備基金からのとり崩しを行いました。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：24,516千円		②私有林人工林面積（※1）：2,075ha	
③林野率（※1）83.3%	④人口（※2）34,483人	⑤林業就業者数（※2）43人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

2 事業実施の様子（一部抜粋）



【森林整備事業】
品木沢森林作業道開設第2期工事



【森林整備事業】
東中地区間伐



【木材活用事業】
市産材備品

3 譲与税の活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末 活用率
活用額 (千円)	85,574千円	25,936千円	111,510千円	92.9%
譲与額 (千円)	95,496千円	24,516千円	120,012千円	

※今後も持続可能な森林保全や林業振興の実現に向け、森林環境譲与税を有効に活用していきます。